






野菜の需給・価格動向レポート(平成25年7月16日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格情報			7月の価格情報		生育及び価格の7月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格				
		中旬	下旬				中旬	下旬	
葉 茎 菜	キャベツ 	67.2	79	79	74.19	98	・入荷見込量: 14,280t (95) ・主産地: 群馬 (63)、岩手 (14)、茨城 (7)	・群馬産は、少雨と低温のため生育が遅れが見られたものの、最近の適雨と気温の上昇により生育が回復してきており、今後は順調な出荷の見込み。岩手産は、少雨の影響で生育が遅れが見られ、小玉傾向となっていたものの、適雨で生育が回復傾向となり、下旬には出荷のピークを迎え、今後出荷量が増加する見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 ・茨城産は、降雨による生育の回復が見られたものの、高温等の影響で葉先の枯れ等の品質劣化による正品率の低下が見られ、平年を下回る出荷となり、今後も少なめの出荷となる見込み。千葉産も、少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 ・長野産は、6月上旬までの少雨の影響により小玉傾向となり、少なめの出荷となっているものの、最近の適雨により生育が回復し、今後は順調な出荷の見込み。 ・出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 ・栃木産は、高温の影響で生育が停滞し、少なめの出荷の見込み。群馬産は、高温の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっているものの、山間部からの出荷に切り替わり、出荷量が増加する見込み。岩手産も、高温の影響でやや少なめの出荷となる見込み。 ・群馬産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 ・長野産は、少雨や6月下旬の曇天の影響により少なめの出荷となっているものの、気温の上昇により生育は回復傾向で、今後出荷量が増加する見込み。群馬産は、生育が回復しているものの、産地の切り替わり時期と作付面積の減少により、平年より少なめの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。 ・佐賀産は、貯蔵物の出荷となっており、前年を上回る順調な出荷で、今後も順調な出荷が続く見込み。兵庫産は、生育時の少雨の影響でやや小玉傾向であるものの、作柄は良く、今後も安定した順調な出荷が続く見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		81.66	90	97	88.91	104	・入荷見込量: 3,800t (96) ・主産地: 群馬 (45)、長野 (40)		
	ねぎ 	264.1	372	412	273.33	364	・入荷見込数量: 4,050t (100) ・主産地: 茨城 (66)、千葉 (13)、埼玉 (6)、輸入 (5)		
		334.73	398	396	342	355	・入荷見込数量: 220t (95) ・主産地: 香川 (32)、徳島 (19)、三重 (11)、大阪 (9)、奈良 (8)、高知 (8)		
	はくさい 	67.05	69	58	58.89	71	・入荷見込量: 5,670t (100) ・主産地: 長野 (85)		
		77.96	75	56	62.78	73	・入荷見込量: 2,700t (99) ・主産地: 長野 (99)		
	ほうれんそう 	376.1	409	532	583.95	741	・入荷見込量: 1,050t (98) ・主産地: 栃木 (26)、群馬 (23)、茨城 (17)、岩手 (14)		
		396.89	543	625	670.86	831	・入荷見込量: 410t (96) ・主産地: 岐阜 (85)、北海道 (11)		
	レタス 	120.13	91	87	120.13	149	・入荷見込量: 9,610t (100) ・主産地: 長野 (85)、群馬 (11)		
		125.61	90	80	125.61	169	・入荷見込量: 1,950t (100) ・主産地: 長野 (99)		
たまねぎ 	71.02	81	76	84.85	78	・入荷見込量: 9,140t (110) ・主産地: 佐賀 (40)、兵庫 (29)、輸入 (3)、香川 (3)			
	71.02	88	85	84.85	86	・入荷見込量: 3,600t (105) ・主産地: 兵庫 (91)			
果 菜	きゅうり 	189.84	236	276	210.69	268	・入荷見込量: 7,870t (100) ・主産地: 福島 (35)、岩手 (12)、秋田 (12)、埼玉 (7)、宮城 (5)	・福島産は、適雨と気温の上昇により順調な生育になり、今後も平年並みの出荷の見込み。岩手産も、順調な生育となり、露地ものも出始め、今後は出荷量が増加する見込み。秋田産も、順調な生育で、平年並み出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。 ・青森産は、最近の曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後は気温の上昇により出荷量が増加するものの、中旬までは出荷量が少ない見込み。栃木産は、6月下旬の曇天により少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。茨城産も、6月下旬の曇天により少なめの出荷となっており、今後は出荷の終盤を迎え、出荷量が減少する見込み。 ・少なめの出荷が見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 ・群馬産は、高冷地への産地の切り替わり時期になり、低温のため生育が遅れているため、少なめの出荷の見込み。栃木産は、生育が順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 ・茨城産は、最近の曇天の影響で少なめの出荷となっており、今後は出荷の終盤を迎え、平年より10日程度早く、月末までの出荷の見込み。岩手産は、適雨により生育が回復し平年並みの出荷となり、今後、出荷量が徐々に増加する見込み。 ・茨城産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。 ・北海道産は、5月の曇天や低温の影響で生育が遅れていたものの、生育が回復し、今後は本格的な出荷となる見込み。青森産は、少雨で少なめの出荷となっていたものの、適雨により順調な生育になり、今後は順調な出荷となる見込み。 ・青森産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。 ・青森産は、出荷開始を迎え、順調な生育で、平年並みの出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷となっているものの、出荷の終盤を迎え、今後は出荷量が減少し、月末までの出荷の見込み。北海道産は、下旬から本格的な出荷が開始となる見込み。 ・青森産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
		177.22	216	239	221.71	270	・入荷見込量: 2,000t (100) ・主産地: 福島 (31)、愛媛 (21)、北海道 (20)、香川 (7)		
	トマト 	209.59	276	275	229.51	377	・入荷見込量: 8,870t (100) ・主産地: 青森 (15)、栃木 (14)、茨城 (10)、千葉 (9)、福島 (7)、群馬 (7)、岩手 (7)、秋田 (5)		
		228.53	290	290	271.33	390	・入荷見込量: 1,800t (105) ・主産地: 北海道 (28)、岐阜 (14)、熊本 (11)、愛知 (9)、石川 (8)、岡山 (7)		
	なす 	297.07	307	336	209.55	416	・入荷見込量: 4,430t (102) ・主産地: 群馬 (28)、栃木 (23)、茨城 (22)、埼玉 (8)		
		271.01	259	278	221.72	341	・入荷見込量: 1,100t (105) ・主産地: 山梨 (20)、徳島 (19)、大阪 (17)、奈良 (10)、京都 (9)		
	ピーマン 	251.5	314	370	251.5	433	・入荷見込量: 2,020t (100) ・主産地: 茨城 (67)、岩手 (20)		
		266.65	318	371	266.65	416	・入荷見込量: 370t (94) ・主産地: 兵庫 (19)、宮崎 (15)、北海道 (13)、大分 (13)、高知 (11)		
	根 菜	だいこん 	86.59	71	86	94.6	108		・入荷見込量: 8,530t (98) ・主産地: 北海道 (51)、青森 (40)
			94.24	75	92	100.39	108		・入荷見込量: 2,900t (98) ・主産地: 北海道 (69)、青森 (18)、岐阜 (11)
にんじん 		133.01	135	129	133.01	132	・入荷見込量: 6,290t (100) ・主産地: 青森 (42)、千葉 (29)、北海道 (22)、輸入 (5)		
		132.62	115	120	132.62	139	・入荷見込量: 2,000t (94) ・主産地: 青森 (41)、北海道 (31)、和歌山 (14)、長崎 (9)		

種類	6月の価格情報			7月の価格情報		生育及び価格の7月の見通し
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	上旬	
い	344	386	383	344	381	・入荷見込量：326t (-) ・主産地：宮崎 (37)、鹿児島 (36)、輸入 (19)、千葉 (6)
	347.9	421	392	347.9	490	・入荷見込量：104t (-) ・主産地：宮崎 (40)、鹿児島 (39)、輸入 (16)、沖縄 (6)
も	131.8	95	97	101.61	117	・入荷見込量：5,310t (97) ・主産地：茨城 (31)、千葉 (19)、長崎 (17)、静岡 (15)
	131.8	98	98	101.61	117	・入荷見込量：2,800t (89) ・主産地：長崎 (45)、北海道 (26)、千葉 (8)、静岡 (8)、熊本 (7)

- 1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)
- 2) 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)
- 3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック
- 4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
- 5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
- 6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)				主要野菜の小売価格 (東京都区部) (単位：円/kg)						
	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)	キャベツ			レタス			
					過去5か年平均	平成25年	5か年比 (%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比 (%)	
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,243	101	1,669	102	187	203	109
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,553	101	1,652	95	203	204	100
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	4,961	108	1,769	96	207	181	88
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	5,019	109	1,809	95	248	207	83
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	5,257	106	1,861	96	175	133	76
6月	5,048	1,881	5,103	1,875		0		0	140	152	109
7月	4,421	1,691	4,386	1,675		0		0	149		0
8月	4,318	1,689	4,245	1,618		0		0	138		0
9月	4,839	1,783	4,916	1,703		0		0	142		0
10月	5,280	1,840	5,242	1,761		0		0	150		0
11月	5,030	1,630	5,039	1,602		0		0	155		0
12月	5,140	1,837	5,169	1,888		0		0	148		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20～24年の平均。

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1) 過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2) 平成25年6月の値は、6月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量 (単位：トン、%)				主な野菜の輸入数量 (単位：トン、%)				
	平成23年	平成24年	平成25年1～5月	平成25年5月	品目	輸入先	平成24年6月(A)	平成25年6月(B)	(B)/(A)
		前年比	前年比	前年同期比	前年同月比	合計	33,587	26,082	78
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	378,742	79	67,807	78	
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	769,106	99	175,508	99	
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	1,147,848	91	243,315	92	
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	558,388	90	113,477	91	
中国産シェア	52		51		49		47		

資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年6月は、速報値である。

4 トピック — 今年と猛暑だった平成22年の野菜の価格 —

平成22年と25年の野菜の卸売価格と気象

野菜価格	平成22年					平成25年				
	5月	6月	7月	8月	9月	5月	6月	7月上旬	8月	9月
高い	ねぎ、はくさい、レタス、たまねぎ、きゅうり、ピーマン、だいこん、さといも、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、たまねぎ、きゅうり、ピーマン、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、なす、ピーマン、だいこん、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、きゅうり、トマト、ピーマン、だいこん、にんじん、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、だいこん、にんじん、ばれいしょ					
平年並み	キャベツ、トマト	はくさい、ほうれんそう、トマト、にんじん	はくさい、トマト、にんじん							
安い	ほうれんそう、なす、にんじん	レタス、だいこん、なす、さといも	きゅうり、さといも	なす、さといも	さといも					

① 平成22年の価格は、総じて高めに推移した。すなわち、5月から価格が高い品目が多く、6月と7月は、やや減ったものの、8月と9月は、ほとんどの品目で高くなった。5月の高値は、3月と4月の低温と日照不足が影響し、8月と9月の高値は、7月から9月にかけて高温であったことに加え、7月下旬から9月中旬にかけて降水量が少なかったことが影響したのと思われる。

② 一方、平成25年は、6月までは概ね安値の価格で推移してきた。4月と5月は好天に恵まれたことから、生育が順調に進み、5月の価格はすべての品目において安値となった。しかしながら、5月の降水量が少なかったことと、6月下旬に日照不足や低温等であったことにより、野菜の生育が停滞し、7月上旬は、多くの品目で価格が高くなっている。

主産地において、生育が回復してきており、今後、価格は落ち着いてくるものと思われるものの、平成22年のように降水量が少ない状態となれば、野菜の生育に大きな影響を与える可能性がある。一方、暑さが続けば野菜の消費が減少する傾向が見られることから、今後の気象等に十分注視する必要がある。

資料：青果物情報センター、気象庁「気象統計情報」

長野県佐久の気象(5～9月)

資料：ベジ探(原資料) 気象庁「気象統計情報」

平均気温と生鮮野菜の購入数量の関係 (平成19年1月～25年5月)

$y = -5.8471x^2 + 198.43x + 3434.6$
 $R^2 = 0.5738$

資料：(購入数量)「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」、(平均気温)気象庁

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。